

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 111	提案機関名 JA かながわ西湘
要望問題名 イチゴにおける新さがみ粒土と全農推薦の育苗培土の配合割合について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 さがみ粒土が今後廃止となるため、いちご農家における経営面を考慮すると全て育苗培土にかえることは難しいため、新さがみ粒土の有効性は確認できているがそれだけでは難しいと考え育苗培土との配合を検討していただきたい。 また、品種別の配合割合も検討していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	土壌改良資材と肥料成分が加圧脱水ケーキで育苗したイチゴ苗の生産に及ぼす影響		
対応の内容等	加圧脱水式乾燥土である新さがみ粒土につきましては、平成19年度から平成22年度にかけて綾瀬浄水場及び相模原浄水場由来の浄水ケーキのイチゴ育苗培土への利用について検討し、リン酸を加えることで正常に生育すること、また品種が変わっても従来のさがみ粒土と同程度の収量が得られることがわかっています。 これらの成績や情報につきまして、資料の提供を行います。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			